

～人を豊かに、地球を美しく～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

第73期（2022年3月期）

決算説明



2022年5月25日

— お問合せ先 —

執行役員CSR・IR部長 田中善則

TEL：（03）5381-0728

FAX：（03）3349-0867

<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/>



決算の概要

2022年3月期



連結業績 (2022年3月期)

単位：億円

	21/3期通期 (前期)	22/3期通期 (当期)	前期比 増減(率)		23/3期通期 (来期予想)	当期比 増減予想(率)	
売上高	2,315	2,722	407	17.6%	2,800	77	2.8%
営業利益	80	126	46	57.8%	110	▲16	▲13.3%
営業利益率	3.5%	4.7%	+1.2%pt	—	3.9%	▲0.7%pt	—
経常利益	83	137	53	64.1%	114	▲23	▲17.0%
税引前利益	87	137	50	57.8%	—	—	—
当期純利益	60	95	34	56.7%	80	▲15	▲16.3%

- ・ 2022年3月期の業績は、貴金属関連事業、食品関連事業ともに取扱数量が想定を上回り前期比増収増益を達成。
- ・ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、過去最高の実績。

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用し、売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

セグメント別の業績（2022年3月期）

貴金属関連事業

単位：億円

	21/3期実績 (前期)			22/3期実績 (当期)			前期比増減	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計		
売上高	730	800	1,530	967	962	1,929	+398	+26.0%
営業利益	32	35	68	59	44	103	+35	+51.5%
営業利益率	4.5%	4.5%	4.5%	6.1%	4.6%	5.4%	+0.9%pt	—

- ・売上高は、前期比26.0%増収。営業利益は、前期比51.5%増益。
- ・電子デバイス分野の生産活動好調により、貴金属リサイクル取扱量及び貴金属製品等の販売量が全般的に増加。
- ・全体的な貴金属相場が上昇。
- ・産業廃棄物の処理は、処理受託が増加。

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用により、従来の方法に比べて、売上高は90億円減少、営業利益は1億円増加しております。

セグメント別の業績（2022年3月期）

食品関連事業

単位：億円

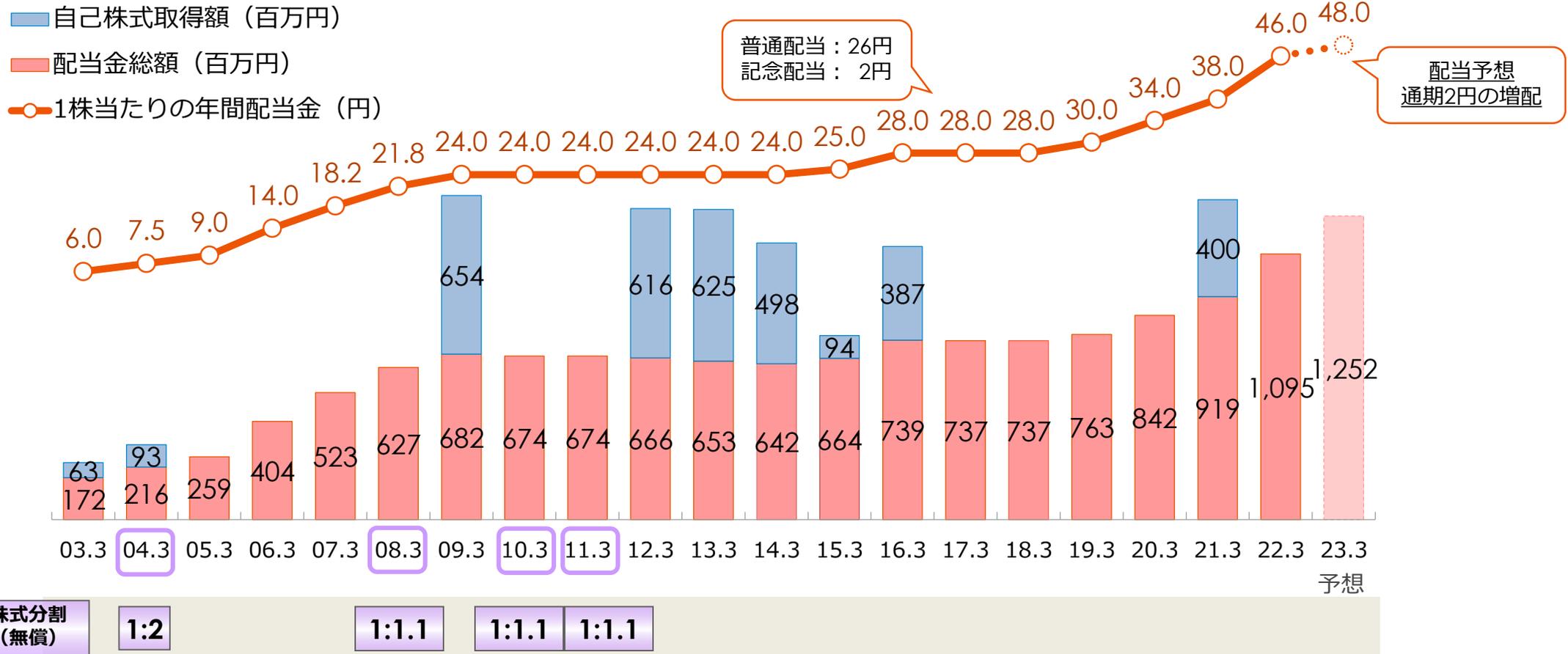
	21/3期実績 (前期)			22/3期実績 (当期)			前期比増減	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計		
売上高	386	398	784	393	400	793	8	1.1%
営業利益	4	8	12	13	9	23	11	93.5%
営業利益率	1.0%	2.0%	1.5%	3.5%	2.4%	2.9%	1.4%pt	—

- ・売上高は、前期比1.1%増収。営業利益は、前期比93.5%増益。
- ・原材料価格や物流コストの上昇、円安が影響し、厳しい市場環境。
- ・多様化する顧客ニーズに応えた商品提案や安定供給により水産品、畜産品、農産品の販売量の増加。

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用により、従来の方法に比べて、売上高は103億円減少、営業利益に影響はありません。

株主還元

成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主様への安定かつ持続的な配当を実施する事により、株主様の期待に応じてまいります。
 なお、次期の配当については、通期で2円増配の48円を予想しております。



(注) 1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

- 連結貸借対照表
キャッシュ・フロー計算書
- セグメント別の売上高、営業利益
- 通期の業績予想
- 設備投資の状況



○ 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

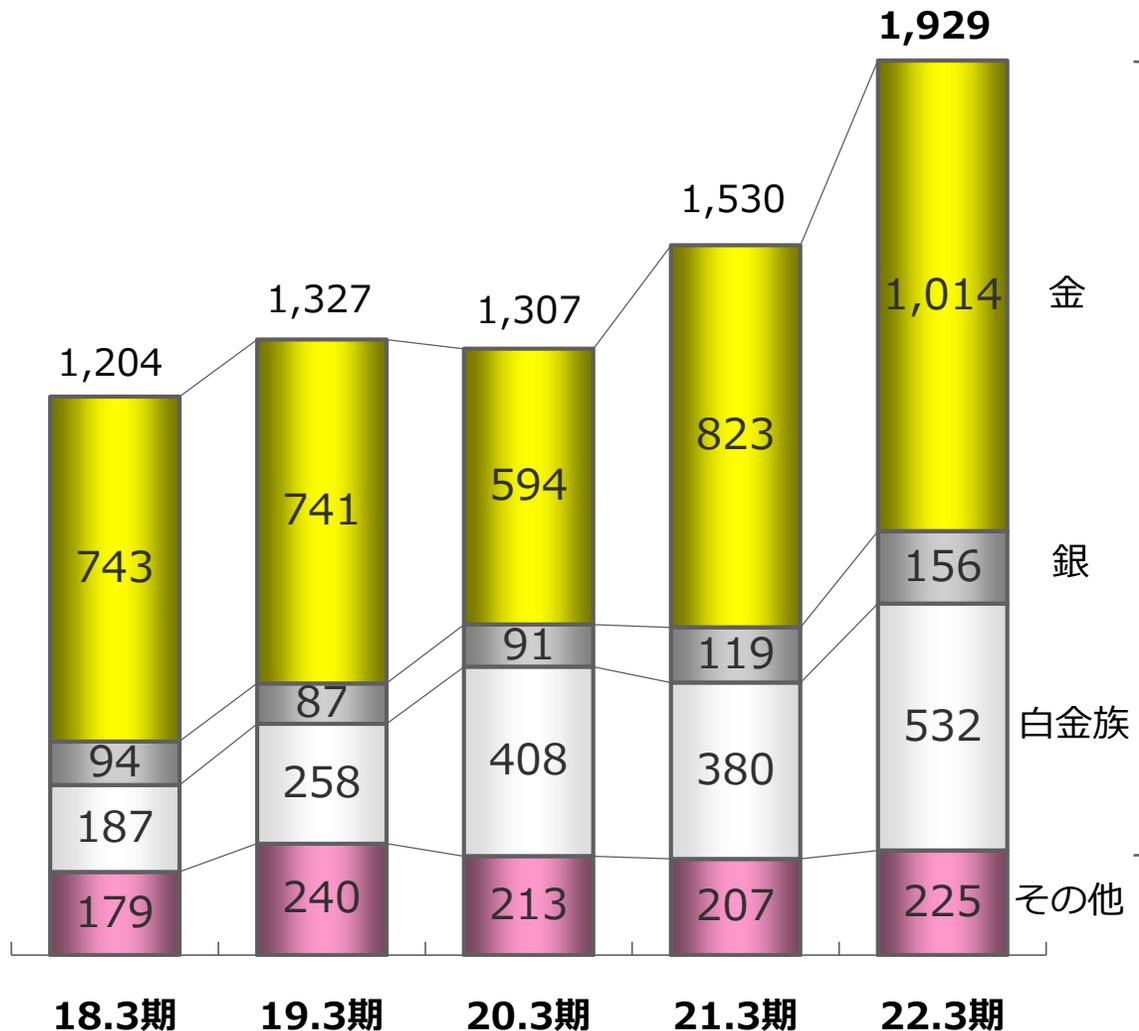
単位：億円

(連結)		21.3期末	22.3期末	増減	主な増減要因
資産合計	流動資産	764	860	+95	現金及び預金、売上債権、棚卸資産
	固定資産	277	297	+19	工場設備の新設及び更新
		1,042	1,157	+115	
負債合計	流動負債	293	335	+42	買掛金、短期借入金
	固定負債	93	77	▲ 15	
	うち有利子負債	172	163	▲ 9	
		386	413	+27	
純資産合計		656	744	+88	
負債純資産合計		1,042	1,157	+115	
自己資本比率		62.8%	64.2%	-	

		21.3期	22.3期	増減
営業キャッシュ・フロー		1	70	+68
投資キャッシュ・フロー		▲ 31	▲ 25	+6
フリーキャッシュ・フロー		▲ 29	45	+75

品目別売上高の推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



製品
・貴金属地金
・めっき用化成品等

売上高： 398億円 増加

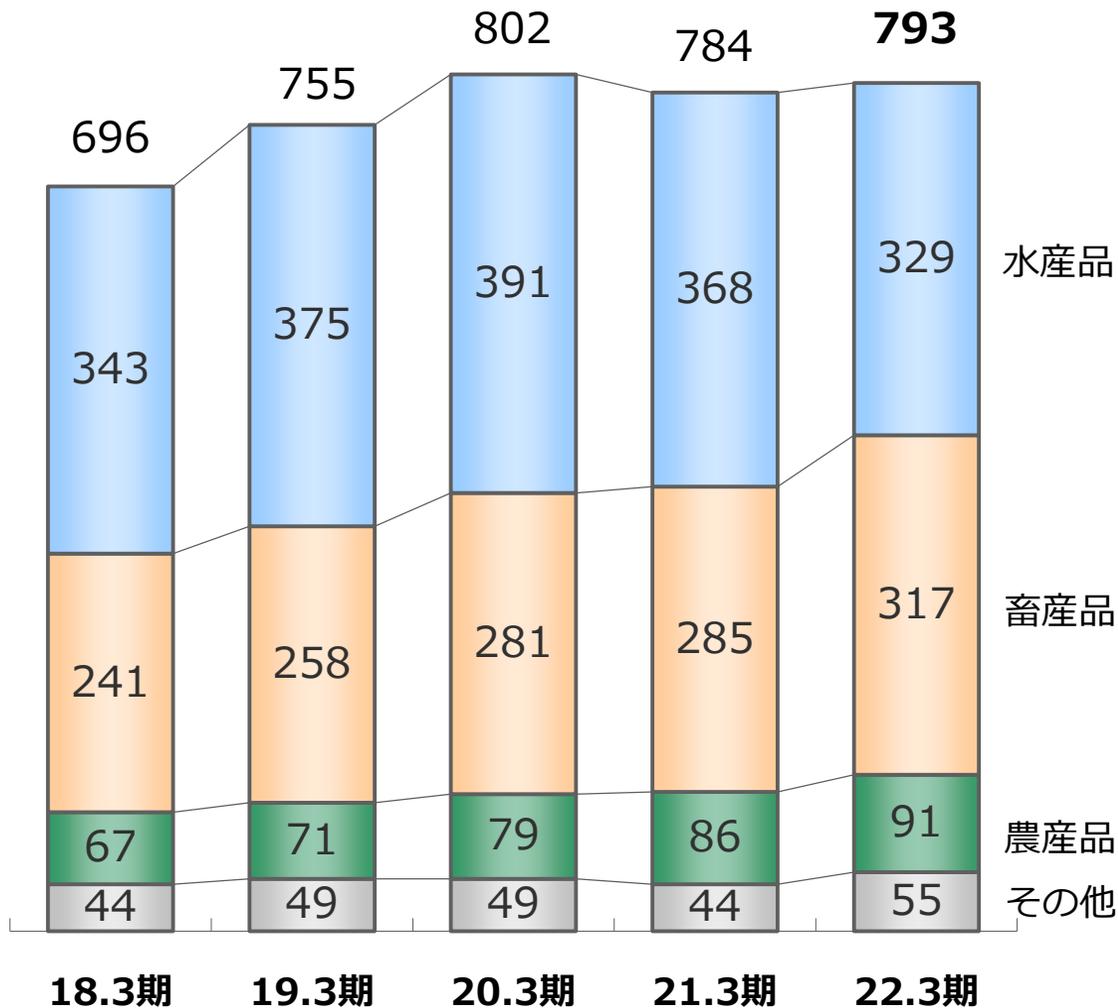
前期比増減要因

○金製品・銀製品・白金族製品
ともに数量増加・単価上昇により
売上増加。

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用により、従来の方法に比べて、売上高は90億円減少しております。

品目別売上高の推移 <食品関連事業>

単位：億円



水産品
すりみ
イカ、エビ等

畜産品
鶏肉、豚肉、牛肉、
鶏卵 等

農産品
冷凍野菜、乾燥野菜等

売上高：8億円 増加

前期比増減要因

○水産品は、すりみは、数量増加・単価上昇、その他水産品は、数量増加、単価下落。

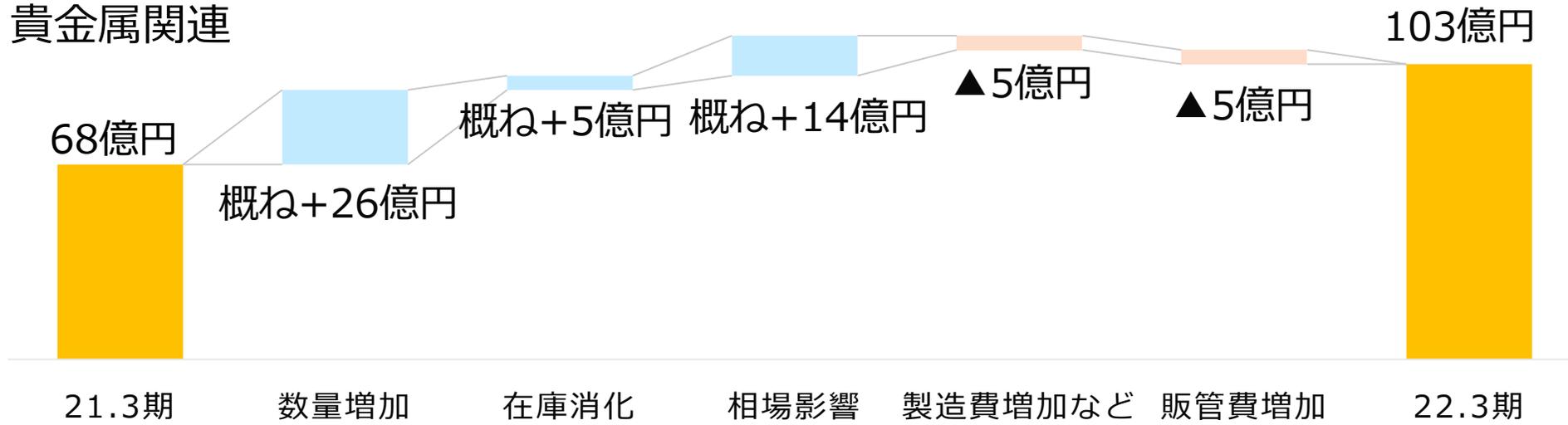
○畜産品は、鶏卵は、数量増加・単価上昇、畜肉類の数量減少・単価上昇。

○農産品は、数量増加・単価下落。

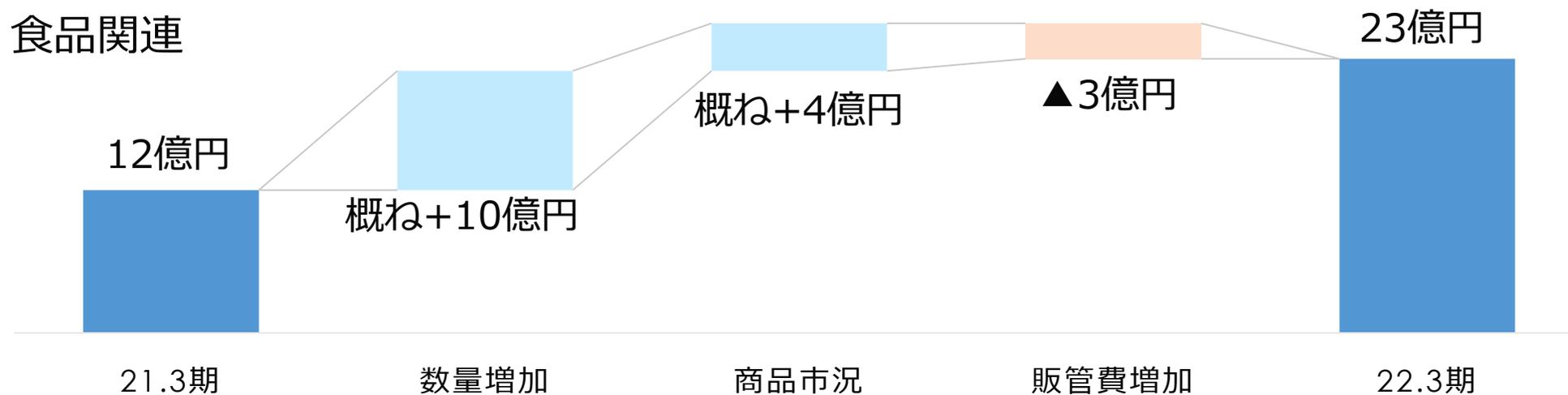
(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用により、従来の方法に比べて、売上高は103億円減少しております。

営業利益の概要

■ 貴金属関連



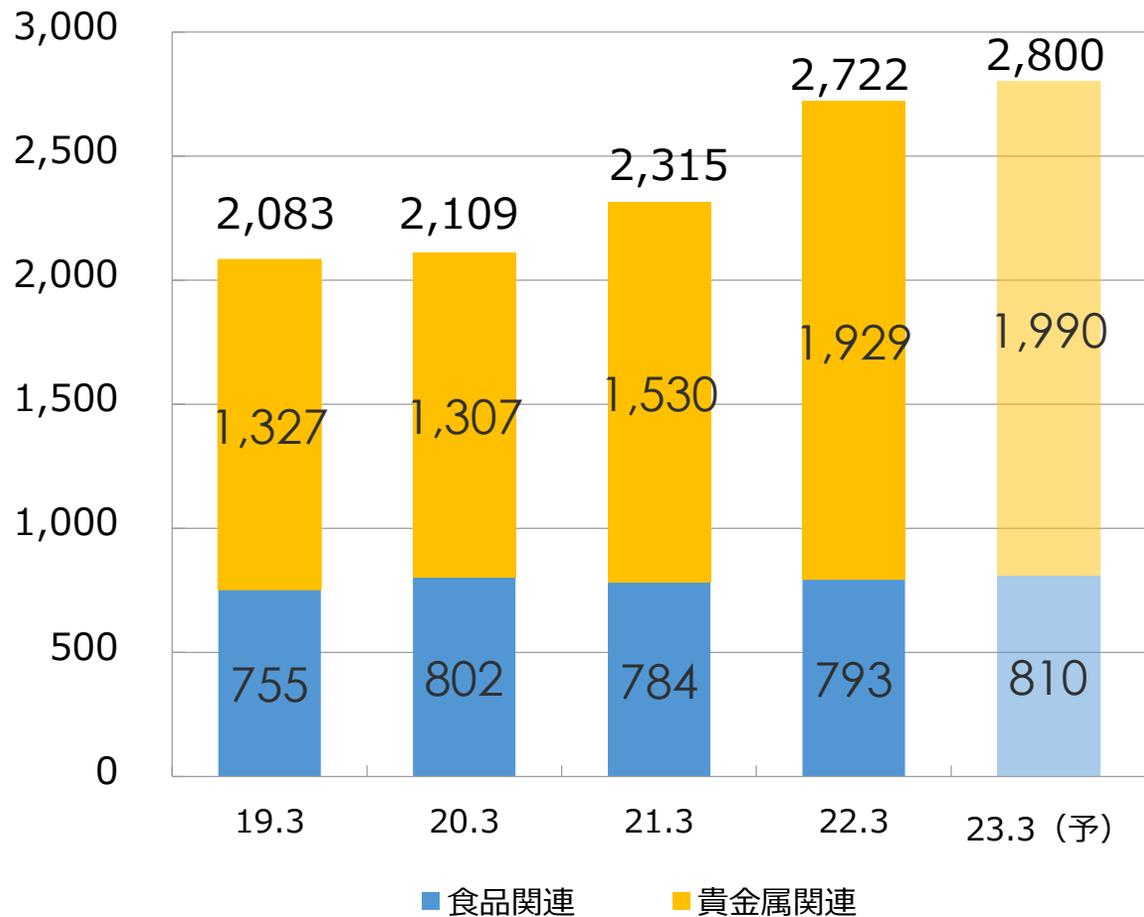
■ 食品関連



連結決算の業績推移と2023年3月期通期予想

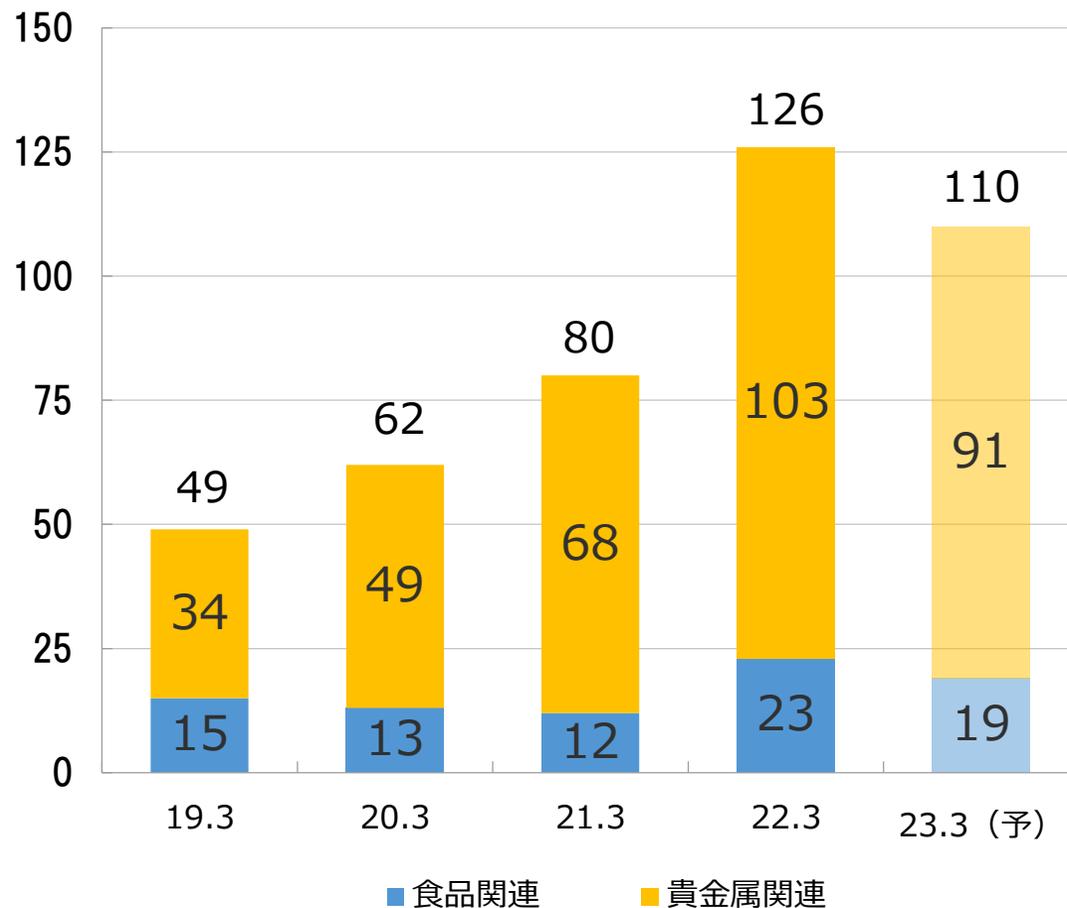
単位：億円

売上高



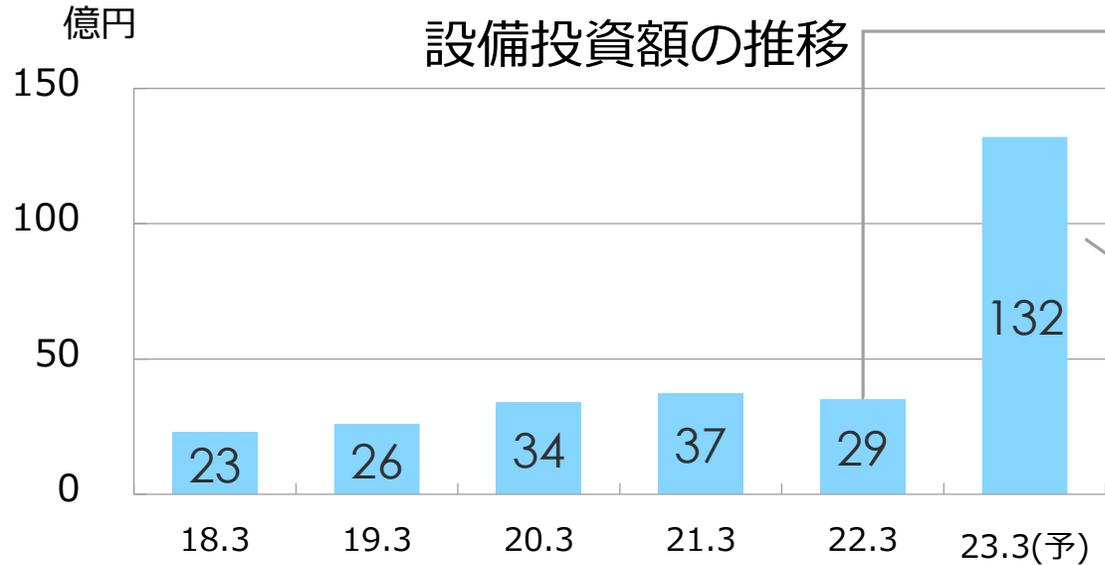
単位：億円

営業利益



(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

設備投資の状況



設備投資実績

22.3期

製錬環境処理設備等

29億円

設備投資予定

23.3期

埼玉県入間市土地・建物

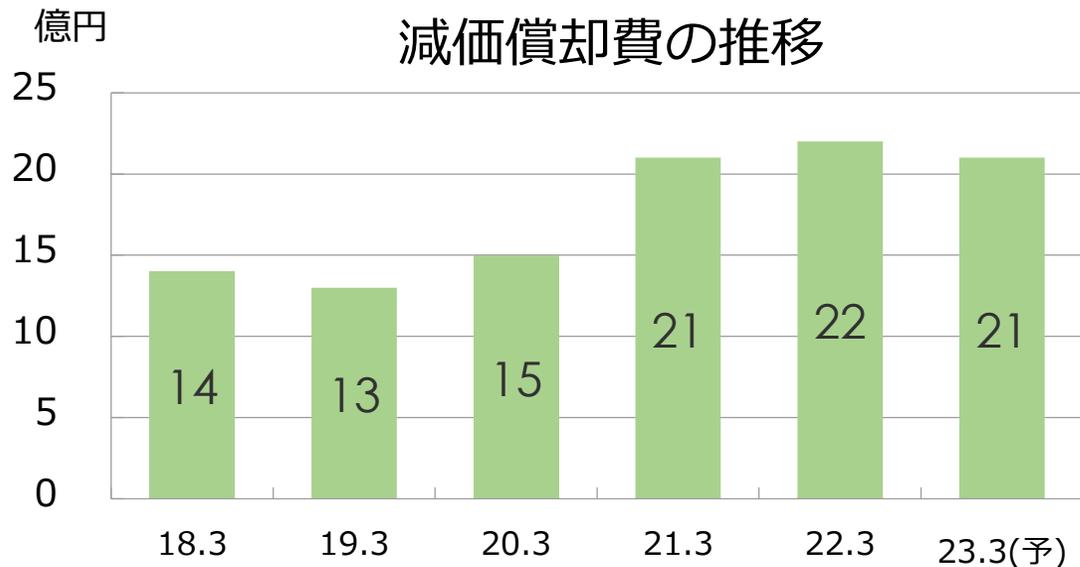
72億円

福岡県北九州市土地

14億円

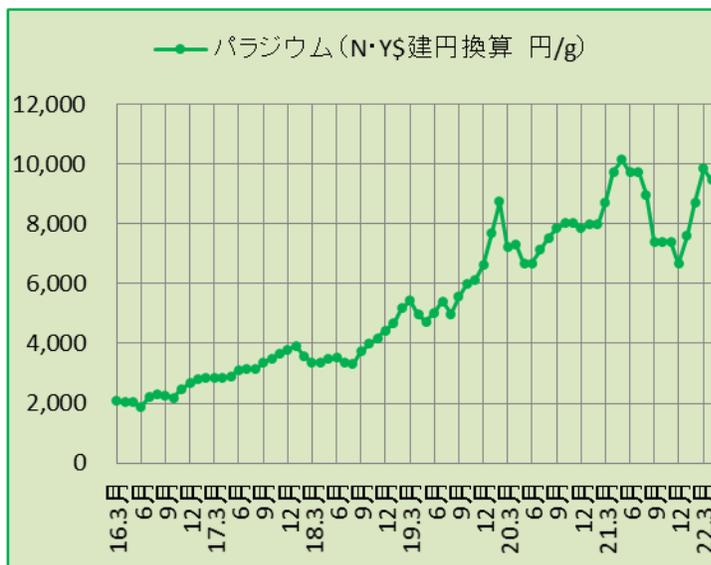
製錬環境処理設備・拠点拡充等

46億円





(ご参考) 貴金属相場の推移



2023年3月期
通期見通しの想定相場

- ・金 6,800円/g
- ・銀 85円/g

中期経営計画概要 (2022～2025年度)

限りある地球資源を有効活用し、
業を通じて社会に貢献する



Contents

- I. 前・中期経営計画の振り返り
- II. 新・中期経営計画
- III. ESGへの取り組み
- IV. 株主還元・資本政策





I. 前・中期経営計画（2019～2021年度）の振り返り

前・中期経営計画の振り返り

■ 目標を前倒しで達成し、3期連続の増収増益を実現

単位：億

	19実績 (20/3期)	20実績 (21/3期)	21目標 (22/3期)	21実績 (22/3期)
売上高	2,110	2,315	2,200	2,722
営業利益	62	80	55	126
営業利益率	3.0%	3.5%	2.5%	4.7%
ROE	6.8%	9.7%	6.0%	13.7%

前・中期経営計画の振り返り

単位：億

セグメント別		19実績 (20/3期)	20実績 (21/3期)	21実績 (22/3期)
貴金属関連事業	売上高	1,307	1,530	1,929
	営業利益	49	68	103
	営業利益率	3.7%	4.4%	5.3%
食品関連事業	売上高	803	785	793
	営業利益	13	12	23
	営業利益率	1.6%	1.5%	2.9%

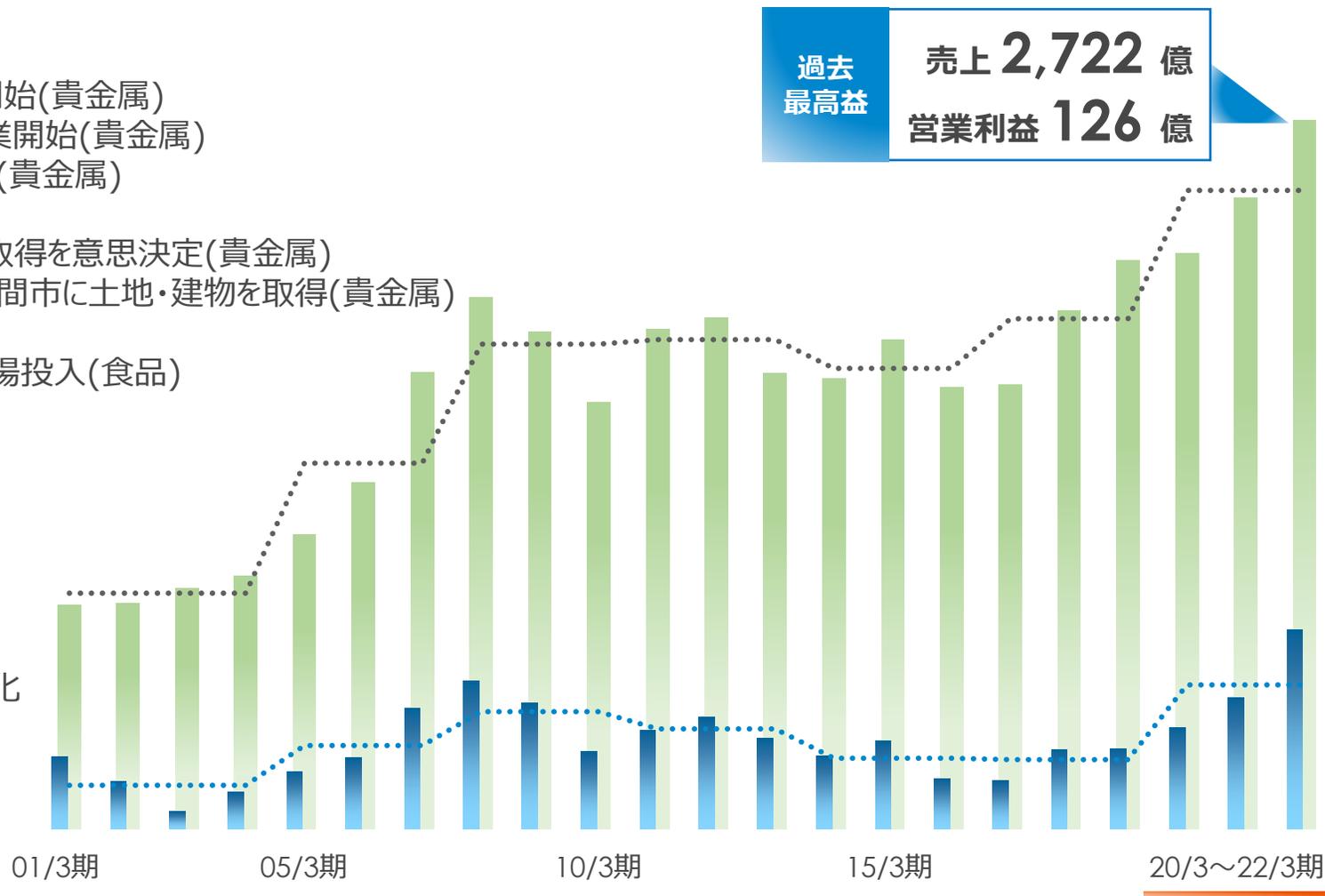
前・中期経営計画の振り返り

事業戦略の推進

- 関工場(岐阜県関市)前処理設備が稼働開始(貴金属)
- 太平洋セメント様との二次電池リサイクル事業開始(貴金属)
- 高性能金蒸着材「MNS」を開発/市場投入(貴金属)
- 韓国へ現地法人設立(貴金属)
- 更なる業容拡大に備え北九州事業用地の取得を意思決定(貴金属)
- 生産/物流の機能強化を目的に、埼玉県入間市に土地・建物を取得(貴金属)
- 台湾支店出店、事業領域を拡大(食品)
- 機能性の高い植物肉(大豆ミート)を開発/市場投入(食品)
- 東北地区の事業場を刷新しサービス力を強化
- 国内営業拠点再編の実行

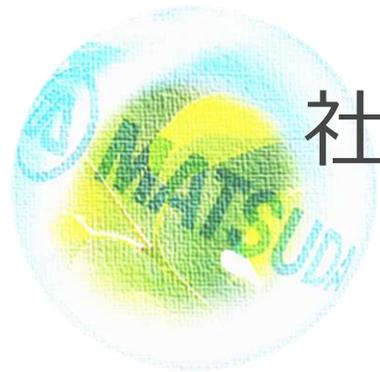
経営基盤の強化

- グローバル行動規範を制定しガバナンス力を強化
- 人事制度を刷新し、経営基盤を強化
- グループウェアを刷新し、生産性を向上
- 健康経営優良法人の認定取得





Ⅱ. 新・中期経営計画（2022～2025年度）



社会変化に適応し、進化し続ける、
お客様・社会から常に必要とされる企業へ

お客様・社会

資源の有効活用 & 持続可能な資源確保

お客様や社会の課題解決に資する高い付加価値を提供

貴金属関連事業

資源循環(活用)を創造する
リーディングカンパニー

成長戦略推進

食品関連事業

お客様の商品開発の
ベストパートナー

■ 成長戦略を着実に実行し、安定且つ持続的な成長を実現

単位：億

	16~18実績 Ave	19~21実績 Ave	21実績 (22/3期)	25目標 (26/3期)
売上高	1,871	2,382	2,722	3,000
営業利益	42	90	126	130
営業利益率	2.2%	3.7%	4.7%	4.3%
ROE	5.6%	10.0%	13.7%	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	9.4%	12.5%	10.0%

○ 経営目標（セグメント別）

単位：億

		16~18実績 Ave	19~21実績 Ave	21実績 (22/3期)	25目標 (26/3期)
貴金属 関連事業	売上高	1,184	1,589	1,929	2,000
	営業利益	29	74	103	105
	営業利益率	2.4%	4.6%	5.3%	5.3%
食品 関連事業	売上高	687	793	793	1,000
	営業利益	13	16	23	25
	営業利益率	1.9%	2.0%	2.9%	2.5%

基本方針

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で**収益基盤強化**と**新規収益源の創出**
- 持続的成長を支え、加速させる**経営基盤の強化**
- **ESG経営**の推進で**企業価値向上**

貴金属関連事業

資源循環(活用)を創造する
リーディングカンパニー

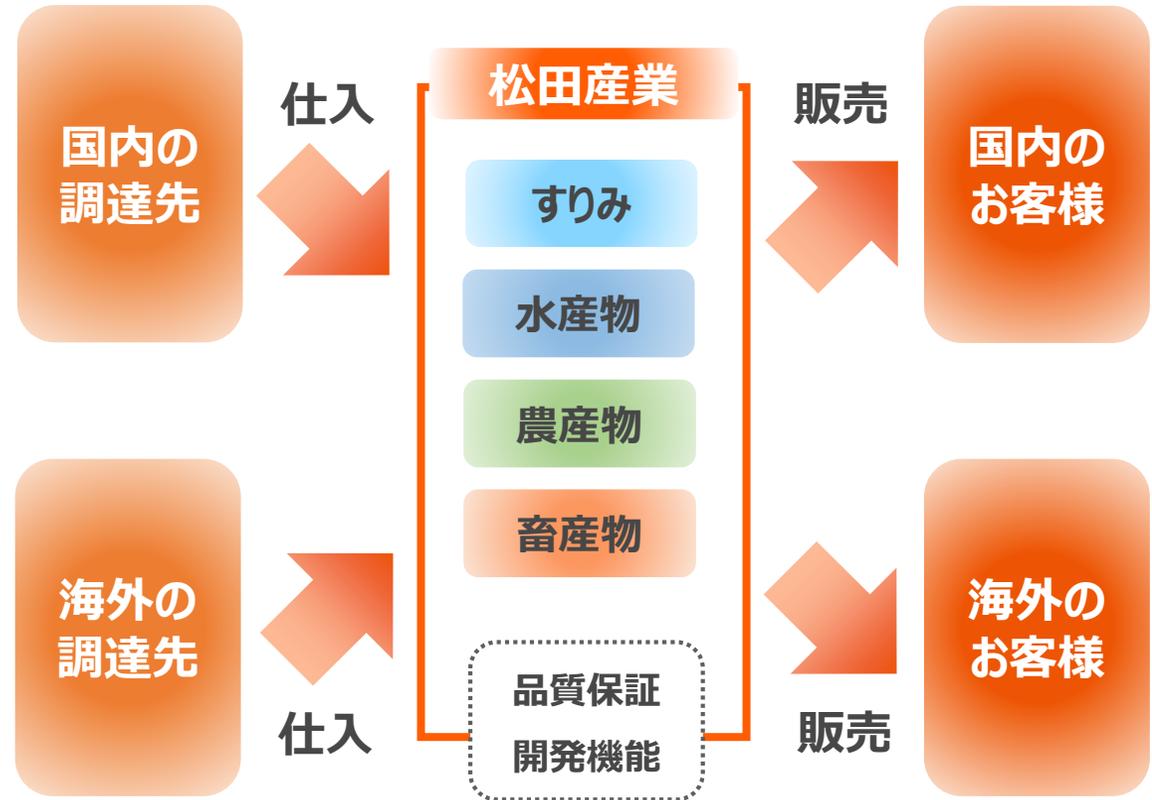
- 資源リサイクルの総合力向上で差別化
 - 環境負荷低減製品/サービス構築と提供
 - 高機能電子材料の開発販売
- 国内シェアの拡大、海外の新たな市場開拓
- 電子デバイス業界の深耕、化学/自動車業界及び二次電池/E-スクラップ市場を開拓
- 事業規模/領域拡大に向けた技術開発と生産インフラの拡充
- 品質管理体制の強化と廃棄物処理の徹底管理による安全/安心/信頼の追求



食品関連事業

お客様の商品開発の
ベストパートナー

- 調達網と商品ラインナップの拡充により基幹事業(原料販売)を強化
- お客様ニーズを捉えた安心・安全でサステナブルな商品の開発、商流の構築
- グローバル展開の加速で販売領域を拡大
- 基幹事業を軸とし、サプライチェーン領域の拡大
- 品質保証/技術支援の強化で一貫した品質体制を構築



調達ネットワークの拡充と品質管理ノウハウの確立

安心・安全な食材を安定的に提供し続ける

経営基盤強化

- ITを活用した管理機能強化と自動化/省力化を推進し、生産性向上
 - ERP刷新とトレント技術の積極導入
- 成長を牽引する経営人財の創出
- 適材適所で多様な人財(女性/中途/シニア/外国人等)が活躍出来る働き甲斐と働きやすい職場環境作り
 - 挑戦機会の提供と計画的育成を推進
 - キャリア開発支援の拡充
- ガバナンス強化と多岐に渡るリスク管理(安全/遵法/事業リスク)の徹底
 - 三線ディフェンスの強化
 - デジタル社会の浸透に伴う情報セキュリティリスクへの対処

「持続的成長を支える経営基盤」

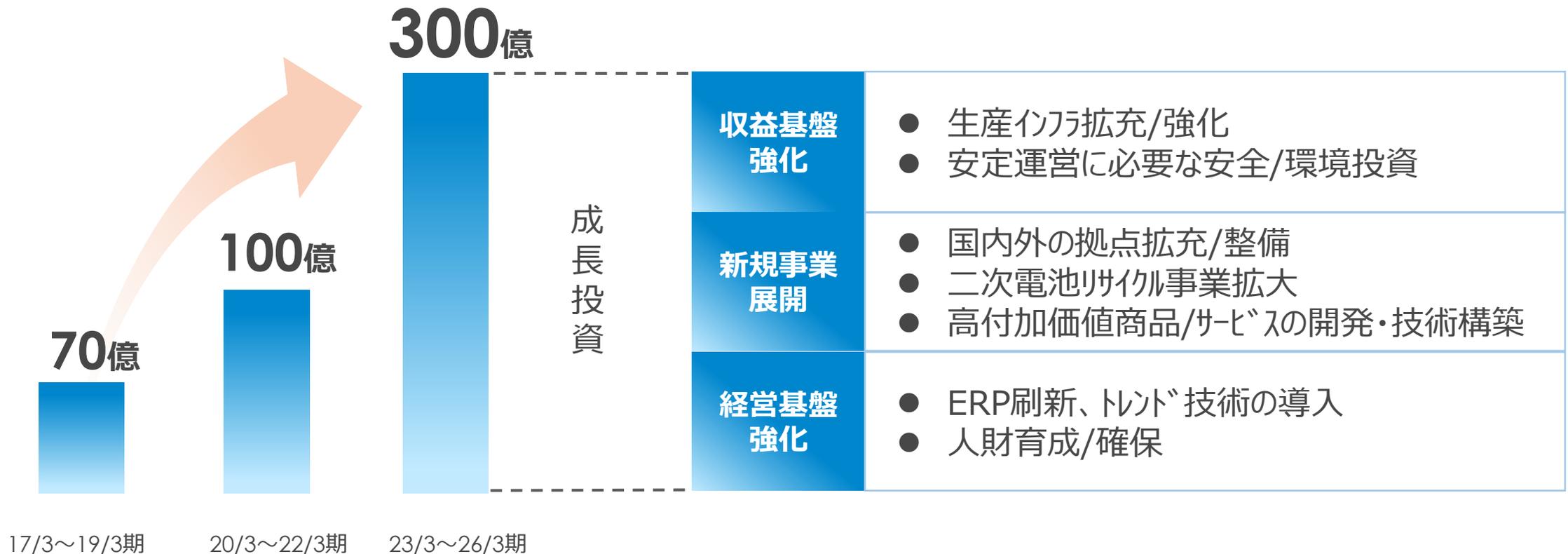
を強化し企業価値を向上



成長戦略（投資計画）

総額 **300** 億
(4カ年累計)

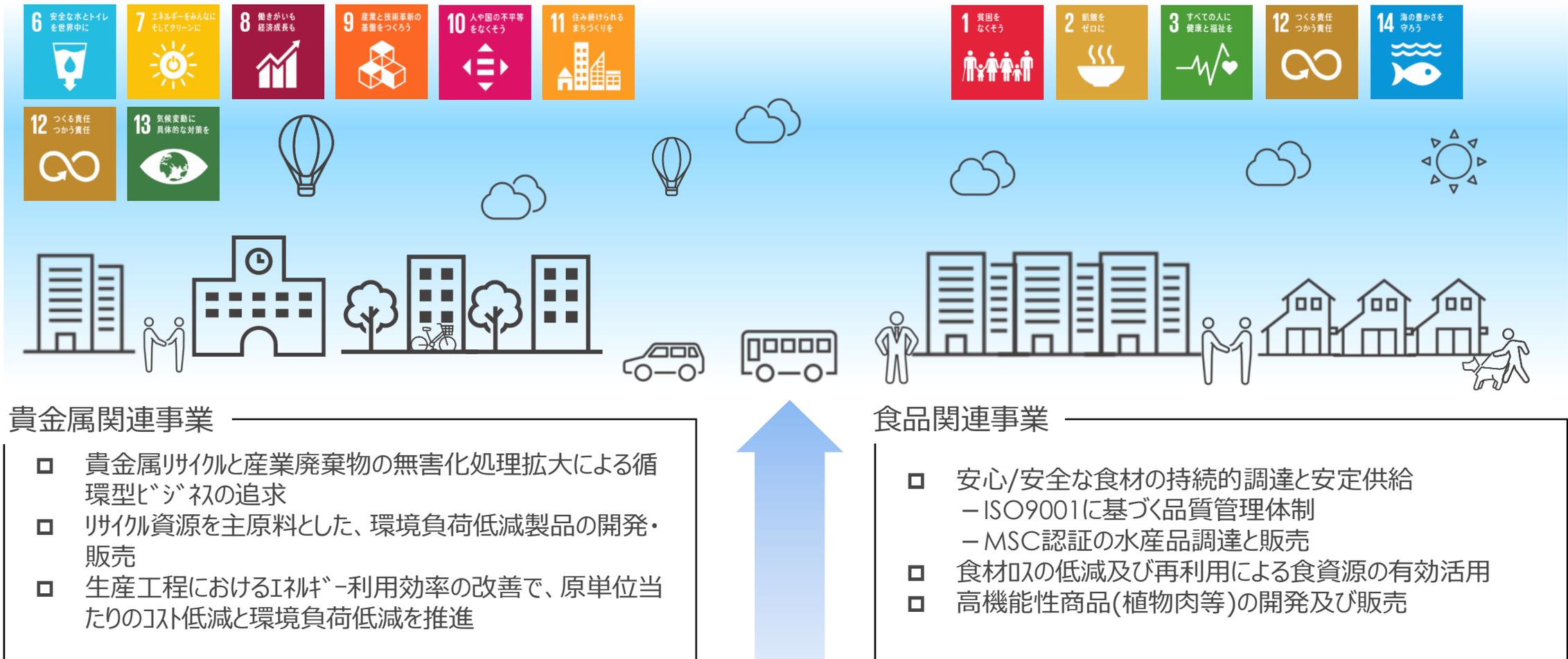
- 成長投資の積極的実施と営業C/Fの着実な確保で、更なる成長を実現
- 財務健全性及び株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分





Ⅲ. ESGへの取り組み

企業価値向上へ向けて



業を通じて、お客様や社会に貢献する

○ 松田産業の重要課題（マテリアリティ）



環境

環境負荷低減と事業成長の両立

- ① E礼ギ-消費及び温室効果ガスの排出
- ② 大気への排出
- ③ 有害物質
- ④ 固形廃棄物
- ⑤ 汚染防止と資源削減
- ⑥ 水の管理
- ⑦ 生物多様性



品質
安全性

お客様満足の向上と社会の信用確保

- ① 製品/サービスの正確な情報の提供
- ② 商品の安心・安全の確保

人権
労働

多様な人財活躍による成長加速

- ① 適材適所
- ② ダイバーシティ&イノベーション
- ③ ワークライフバランス

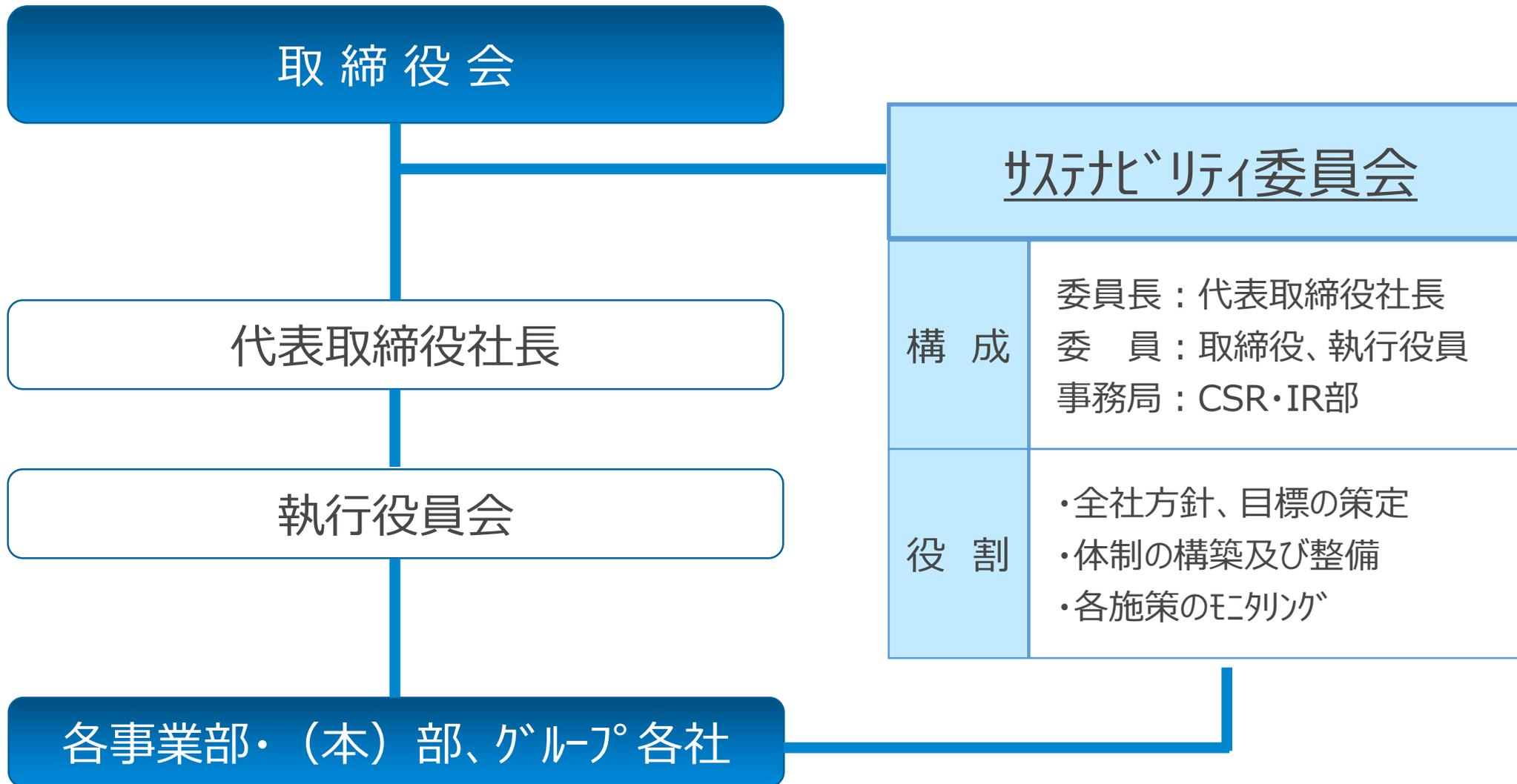


組織
統治

サステナビリティ委員会を設置し、グループ全体の取組を統制

- ① マネジメントシステム（ガバナンス）
- ② 情報セキュリティ
- ③ サプライヤーとのパートナーシップ

- 環境・品質安全性・人権労働を重要課題と位置付け、社会貢献と事業成長の両立を実現
- 重要課題に対する非財務目標については設定次第、開示予定





IV. 株主還元・資本政策

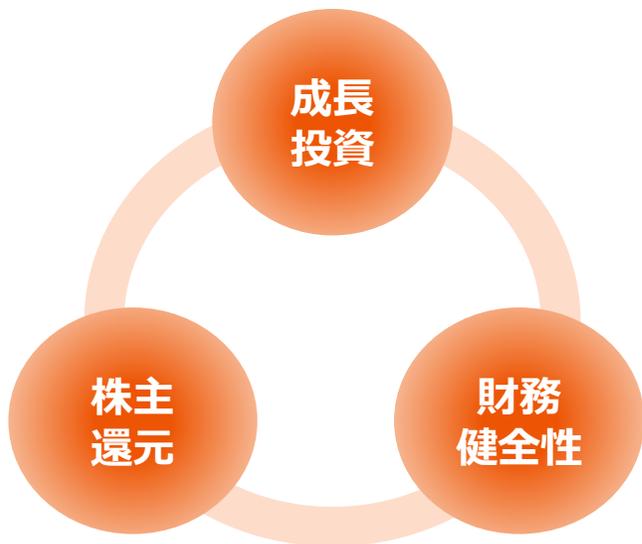
株主還元・資本政策の基本方針

株主還元

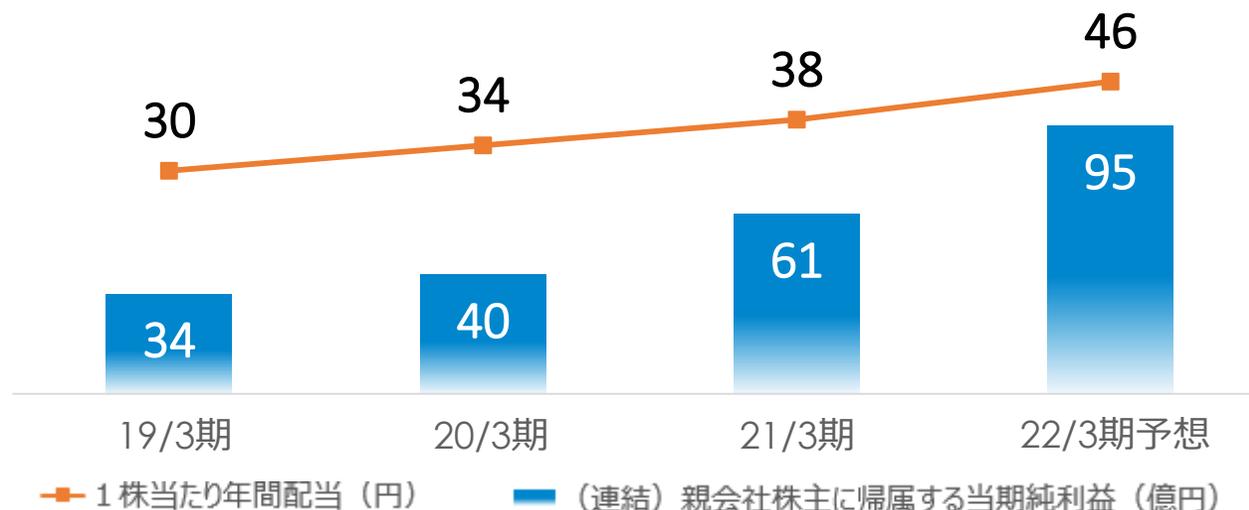
- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元

資本政策

- 成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



株主還元推移（配当金）：19/3期から4期連続の増配予想





弊社HP **松田産業** 検索 <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/index.html>

本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。